

2023年9月19日

西日本旅客鉄道株式会社

大雨に伴う美祢線・山陰線の被災状況と今後の見通しについて

2023年6月30日からの大雨により被災された皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。

美祢線(厚狭～長門市駅間)ならびに山陰線(長門市～小串駅間)では、このたびの大雨により鉄道施設に大規模な被災が確認され、被災状況や被災原因等の調査を進めてまいりました。現時点で把握した被災状況等と、これを踏まえた今後の見通しについて以下のとおりお知らせいたします。

運転を見合わせている区間については、代行バスを運転しております。ご利用のお客様には引き続き、代行バスのご利用をお願いいたします。

○美祢線について

1. 被災状況について

発生区間：湯ノ峠(山陽小野田市)～長門湯本(長門市)駅間の約37kmの区間

箇所数：80箇所

2. 被災原因等について

第6厚狭川橋りょう流失をはじめ、盛土(路盤)やバラスト流失の多くが二級河川厚狭川の水位上昇や氾濫によって生じたものと想定しています。

なお、厚狭川に架かる他の6橋りょうも橋桁に至る水位上昇を現地調査により確認しました。

○山陰線について

1. 被災状況について

発生区間：長門市(長門市)～小串(下関市)駅間の約51kmの区間

箇所数：69箇所

2. 被災原因等について

大雨による土砂災害であると想定しています。

なお、粟野川橋りょうの橋脚傾斜は引き続き専門技術者による調査分析を実施しております。

○今後の見通しについて

美祢線は、2010年7月に引続いての厚狭川に起因する大規模な被災であることから、当該橋りょうだけでなく、河川管理者において、厚狭川全体の河川計画を検討される必要があると考えております。

また、被災前の美祢線利用促進協議会[※]では、弊社から地域交通における美祢線の役割についての議論を沿線自治体の皆様に要請してきたところです。

これらを踏まえ、厚狭川全体の河川改修など沿線地域の防災強度向上の検討に対応させていただくとともに、今後の進め方について関係自治体の皆様に相談させていただきたいと考えております。

山陰線は、粟野川橋りょうの被災メカニズムの調査や構造物の詳細調査を引き続き進めてまいります。調査結果についてははまご報告いたします。

※2010年7月の豪雨災害を契機として同年9月に発足以降、美祢線の利用促進事業に関する取組を実施